

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2

平成30年 月 日

協議会名:飯塚市地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等                        | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性          | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|----------------------------------|--|--|--------------------|--|---|
| (有)Shonai観光<br>飯塚東地区             | 飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローデイ柏の森店への運行                  | 住民への周知活動(利用ガイド全戸配布・広報誌への掲載のほか福祉イベントへの参加等)を行うことで、住民に対する周知については一定の効果は出ている。<br>利用者を含めた住民からの要望等についてはアンケート調査や街頭での聞き取り調査を行い、また、地域でのまちづくり協議会や各種団体等からの意見を反映し、運行改善を行っている。 | A 事業は適切に計画通り実施された。 | B<br>コミュニティ交通全体(予約乗合タクシー、コミュニティバス、街なか循環バス)の利用者数合計の目標79,000人に対して、76,092人となり、達成率は96.1%と目標に近い数字となった。しかし、予約乗合タクシーのみの利用者数の目標58,481人に対して実績は45,239人(達成率77.4%)となり、目標には及ばなかった。<br><br>(理由)<br>予約乗合タクシーについては、運行時間内の予約が飽和状態であっても利用者どうして希望の時間帯と目的地の方向の両方が合致するケースが少なく、乗合率の向上が困難であること、また、運行時間内でも予約の入らない時間帯があり、利用者数が比較的少ない地区もあることが、目標値に達しなかった理由として挙げられる。<br>なお、コミュニティバスは平成30年度から路線を再編したところであり、特に新設された高田・鎮西線について、今後さらに市民への定着を図っていく必要がある。 | ①平成31年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者にわかりやすいように作成し、市民の理解、周知に努める。<br><br>②自治会単位の小規模説明会等の開催を重ねることで、市民の理解を得られ、登録者が増加してきた経緯があり、今年度の追加登録者数は昨年度よりも5.8%増加することができた。今後も引き続き、地元説明会、福祉イベント等へ参加し、市民への周知活動の強化に取組み、利用促進を図る。<br><br>③民間事業者への影響に配慮しながら利用者の利便性向上のため、市民要望を反映して、各デマンド運行地区外の近接地に立地している施設への運行等を検討する。<br><br>④第2次飯塚市地域公共交通網形成計画に基づくコミュニティ交通の利用促進策を進める。 |
| (有)Shonai観光<br>庄内地区              | 庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上三緒店への運行                        |  |                    |  |   |
| (有)Shonai観光<br>鎮西地区<br>(八木山地区以外) | 鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス花瀬店への運行   |  |                    |  |   |
| (有)Shonai観光<br>筑穂地区              | 筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・JR桂川駅への運行                      |  |                    |  |   |
| 穂波タクシー(株)<br>穂波地区                | 穂波地区内及びJR筑前大分駅への運行                               |  |                    |  |   |
| 安全タクシー(有)<br>頼田・鯉田地区             | 頼田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運行                               |  |                    |  |   |
| 総合交通(株)<br>鎮西地区<br>(主に八木山地区)     | 鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス飯塚花瀬店への運行 |  |                    |  |   |
| 総合交通(株)<br>二瀬地区                  | 二瀬地区内及びせき損センター・イオン穂波店への運行                        |  |                    |  |   |
| (有)幸袋タクシー<br>幸袋地区                | 幸袋地区内及びJR鯉田駅・川食鯉田店・ハローデイ九工大前店・頼田病院への運行           |  |                    |  |   |

| 新   | 旧(11/22提出資料の内容)   |
|---|---|
| ⑤目標・効果達成状況  | ⑤目標・効果達成状況  |
| <p>コミュニティ交通全体(予約乗合タクシー、コミュニティバス、街なか循環バス)の利用者数合計の目標79,000人に対して、76,092人となり、達成率は96.1%と目標に近い数字となった。<br/> <u>しかし、予約乗合タクシーのみの利用者数の目標58,481人に対して実績は45,239人(達成率77.4%)となり、目標には及ばなかった。</u></p> <p>(理由)<br/> <u>予約乗合タクシーについては、運行時間内の予約が飽和状態であっても利用者どうして希望の時間帯と目的地の方向の両方が合致するケースが少なく、乗合率の向上が困難であること、また、運行時間内でも予約の入らない時間帯があり、利用者数が比較的少ない地区もあることが、目標値に達しなかった理由として挙げられる。</u><br/> <u>なお、コミュニティバスは平成30年度から路線を再編したところであり、特に新設された高田・鎮西線について、今後さらに市民への定着を図っていく必要がある。</u></p> | <p>コミュニティ交通全体(予約乗合タクシー、コミュニティバス、街なか循環バス)の利用者数合計の目標79,000人に対して、76,092人となり、達成率は96.1%と目標に近い数字となったが、目標には及ばなかった。</p> <p>(理由)<br/> 平成30年度より、従来のコミュニティバスと実証運行を終えた街なか循環バスの路線を再編し、新たな形態によるコミュニティバスの運行を開始した。その中で新設された高田・鎮西線が市民に定着していないことが理由と考えられる。<br/> また、予約乗合タクシーは地区によっては予約状況が飽和状態の中、乗合率を向上できていないこと、地区によって利用状況に格差があることも挙げられる。</p> |